

東北復興月間

交流ミーティング
in 東京

～「新しい東北」を創る人々～

入場
無料

2016年6月
開催カレンダー

★「若者」DAY ★「アート」DAY ★「女性活躍」DAY
★「新しい東北」マルシェ ★「新しい東北」写真展

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2

「女性活躍」
DAY

MAP



被災地で活躍する女性により、復興と女性の関わり、
女性ならではの視点による復興の取組、自身のキャリアを考える
女子学生等に向けたメッセージ等について発表します。
被災地だけでなく、全国の地域活性化を考える際に、
女性が活躍するために必要なこと等について来場者と一緒に考えるパネルディスカッションも開催します。

日時

2016年
6月26日(日)
13:00～15:00

場所

3331 Arts Chiyoda
(アーツ千代田 3331) 体育館(2F)
〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14

登壇者



一般社団法人おらが大槌夢広場
事務局長
神谷 未生 氏



NPO法人石巻復興支援ネットワーク
代表理事
兼子 佳恵 氏



女子の暮らしの研究所
代表
日塔 マキ 氏



認定NPO法人コミュニティ・サポート
センター神戸(CS神戸)
マネージャー
飛田 敦子 氏

スケジュール

講演 13:00～14:00

講演者: 神谷 未生 氏(おらが大槌夢広場事務局長)
兼子 佳恵 氏(石巻復興支援ネットワーク代表理事)
日塔 マキ 氏(女子の暮らしの研究所代表)
・被災3県で活躍する女性たちの取組・活動内容について

パネルディスカッション 14:00～15:00

ファシリテーター: 田村 太郎 氏((一財)ダイバーシティ研究所代表理事)
パネリスト: 飛田 敦子 氏(コミュニティ・サポートセンター神戸)
神谷 未生 氏、兼子 佳恵 氏、日塔 マキ 氏
・復興において女性が活動することの重要性
・全国の地域活性化と女性の活躍について

復興庁

Reconstruction Agency

新たなステージ 復興・創生へ

主催: 復興庁

お問い合わせ: 「東北復興月間」イベント事務局 TEL: 03-6280-0120

新しい東北

講演

13:00~14:00

被災3県で活躍する女性たちの取組や活動内容について、現地で精力的に活動する3名の女性にお越しいただき、それぞれご講演いただきます。

【講演者】

●神谷 未生 氏(一般社団法人おらが大槌夢広場 事務局長)

名古屋出身。高校卒業後、米国の大学へ留学。卒業後、米国にて正看護師として、大学病院に勤務しつつ海外派遣医療団を経験。その後、青年海外協力隊として途上国医療にも携わる。東日本大震災直後、国際NGO職員として大槌町に派遣され、緊急支援活動に従事。2012年10月、ロンドン大学大学院にて国際公衆衛生学修士号取得。2012年12月より現在の団体に所属し、2014年1月に事務局長に就任。大槌人と結婚し現在は一児の母。

●兼子 佳恵 氏(特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク 代表理事)

1971年生まれ。「イツ・オア・ネバー」という団体を設立し、子ども対象の環境教育活動のサポートを始める。2009年2月に名称を「環境と子どもを考える会」と改名し、子どもが笑顔になるイベントの開催、街づくりに問題提起する講演会等を企画運営。現在の「NPO法人石巻復興支援ネットワーク」は震災後、つなプロのメンバーと合同で立ち上げた。石巻市震災復興推進委員・石巻市協働教育推進委員等を兼任。

●日塔 マキ 氏(女子の暮らしの研究所代表)

1983年福島県郡山市生まれ。女子の暮らしの研究所代表。イベント制作会社勤務を経て2012年12月、株式会社GIRLSLIFERABOを設立。「女子の暮らしの研究所」を運営し、福島の伝統工芸品をもちいた「かわいい」もののプロデュースをする《ふくしまピースプロジェクト》や、福島の避難区域になっている地域などのスタディツアー《Re:trip〜ふくしまの「これから」を考える旅》や、LABOLABOラジオを通して、女子の視点からの福島の情報発信をする。

パネルディスカッション

14:00~15:00

復興において女性が活動することの重要性や、全国の地域活性化に伴う女性の活躍について、有識者をお招きしてパネルディスカッションを行います。

【ファシリテーター】

●田村 太郎 氏(一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事)

兵庫県伊丹市生まれ。阪神大震災で外国人被災者支援や復興まちづくりに参画。2007年に「ダイバーシティ研究所」を設立し、企業や自治体による取り組みを通じた人の多様性に配慮のある組織や地域づくりを進める。東日本大震災直後に内閣官房企画官に就任し、震災ボランティアを担当。現在も復興庁・復興推進参与として官民連携による復興支援に携わる。明治大学大学院兼任講師、関西学院大学非常勤講師(ダイバーシティ・マネジメント、社会起業担当)



【パネリスト】

●飛田 敦子 氏(認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸) マネージャー)

1980年、神戸市灘区生まれ。中学3年生で阪神・淡路大震災を体験。甚大被災エリアにも関わらず、被害が少なかったことに後ろめたさを感じ続ける。スウェーデンやタンザニアでの留学を経て神戸に戻り、2003年にNPO法人CS神戸に入職。以降、NPO・CBに関する相談業務、ボランティア・コーディネート、研修の企画運営等に携わっている。

●神谷 未生 氏(おらが大槌夢広場事務局長)

●兼子 佳恵 氏(石巻復興支援ネットワーク代表理事)

●日塔 マキ 氏(女子の暮らしの研究所代表)

復興庁

Reconstruction Agency

新たなステージ 復興・創生へ

主催：復興庁

お問い合わせ：「東北復興月間」イベント事務局 TEL: 03-6280-0120

新
し
い
東北